

令和5年5月25日

関係各位

長野県小諸高等学校

令和5年度 ウィーン研修プログラムに係る企画・運営業務の委託業者募集について

このことについて、以下のとおり実施をします。

1 選定等についての日程について

(1) 企画提案書 提出期限	令和5年6月16日(金) 午後5時厳守
(2) 審査方法	書面審査(プレゼンテーションは実施しません。)
(3) 審査結果	令和5年6月20日(火) ※各申込者に対して個別連絡します
(4) 業務開始	令和5年7月3日(月) 予定

2 企画書内容について

- (1) 別紙1に従い企画書を作成ください。
- (2) 現地でのレッスンについては参加者の決定が8月以降となります。現時点では大型楽器の借用並びに現地でのレッスン会場及び講師依頼のプランを費用込みで企画ください。

長野県小諸高等学校  
担当 細萱 裕樹(教頭)  
井出 玲子(音楽科主任)  
電話: 0267-22-0216 Fax: 0267-25-3808  
E-mail: komoro-hs@pref.nagano.lg.jp

# 別紙 1

令和 5 年 5 月 25 日

## 小諸高等学校音楽科生徒 ウィーン研修プログラム計画書

長野県小諸高等学校

- 1 学校名・課程・学科  
長野県小諸高等学校・全日制・音楽科
- 2 研修先  
オーストリア共和国 ウィーン市
- 3 派遣人数（予定）  
20 人（生徒 18 名・引率教員 2 名） ※全学年希望者よりオーディションにより選抜
- 4 研修期間  
令和 5 年 12 月 10 日（日）～16 日（土） 5 泊 7 日（内訳：往復移動 3 日間・現地滞在 4 日間）
- 5 研修内容
  - (1) 目的
    - ①専門性（演奏技術）の向上
    - ②異文化の理解を深め、想像力、コミュニケーション能力の向上
    - ③音楽の都ウィーンの文化芸術に触れることにより、豊かな心を育み、感性を磨く
    - ④文化芸術を通じて社会に貢献できる人材、文化芸術の振興に資する人材の育成
    - ⑤世界における日本の立場や他国との関わりを考える
  - (2) 研修プログラム
    - ①現地で活躍する世界レベルの演奏家による実技レッスン
    - ②音楽大学の学生及び現地留学生との交流
    - ③姉妹校ウィーン・ムジーク・ギムナジウムでのプレゼンテーション及び交流演奏会の開催
    - ④現地での演奏会開催
    - ⑤ウィーン楽友協会での講義受講
    - ⑥ウィーン楽友協会での演奏会鑑賞
    - ⑦国立歌劇場または市立歌劇場でのオペラ鑑賞
    - ⑧ウィーン史跡及び音楽史跡研修
- 6 事前準備スケジュール
  - (1) オーディション及び研修生の決定（8 月）
  - (2) 保護者への説明会（9 月） 2 時間
  - (3) 研修生の課題と研修目標の設定（9 月） 2 時間
  - (4) 研修先の事前研究（10 月 11 月） 6 時間
    - ①ヨーロッパ及びオーストリア共和国の歴史
    - ②音楽史とウィーン音楽史跡
    - ③長野県と小諸市の文化と産業の理解
    - ④姉妹校ウィーン・ムジーク・ギムナジウムとの交流演奏会計画
  - (5) 生活面事前学習（11 月） 2 時間
    - ①現地の生活習慣と注意事項
- 7 成果検証の実施
  - (1) 研修生による報告会及び演奏会の実施。
    - ①本校において（学校評議員会、PTA 総会）報告会と成果発表（演奏を含む）。
    - ②地域施設等において報告演奏会と成果発表。